

「世界の俳句」展

展示図書一覧

展示「書」一覧

奥の細道

月りるる人のちかちかして行く
さうも久旅人や舟の上かき雁
をうへうちわごころくたをむ
うへうちわごころくたをむ
旅を極も古人ももく旅
死すりるる人ちかちかして行く
片やあはれもさうもくたをむ
のちかちかして行く
てまきすのちかちかして行く
旅のちかちかして行く
幸か不幸か改てまきすのちかちかして行く
白川の国さうもくたをむ
のちかちかして行く



(上) 松尾芭蕉自筆「奥の細道」(中尾松泉堂書店, 複製)

(下) 与謝蕪村筆「維駒本 奥の細道画卷」(逸翁美術館蔵 安永8(1779)年の影印)

「世界の俳句」 展開催にあたり

第8回世界俳句協会大会が、明治大学リバティタワーにおいて2015年9月4日(金)から6日(日)まで開催されます。

本大会に合わせて、「世界の俳句」展を当ギャラリーにおいて開催いたします。

大会参加者の句集、俳句を収録した詩集、研究書など俳句に関連した世界の書籍20点を展示いたします。

日本、中国、モンゴル、米国、ハンガリー、ブルガリア、ニュージーランドなどで、1971年から2015年までに出版された書籍がここに集まりました。

俳句が、もはや日本独自の短詩ではなく、全世界的な短詩となっていることがご理解いただけるかと存じます。

また、日本、中国、イスラエル、モロッコ、内モンゴルなどからの参加者による俳句を揮毫した書も同時に展示いたします。

書籍と書という、人間の文化にとって基本的かつ貴重な記録が、俳句を基軸にここに公開されることは、長年、俳句創作に携わってきた一人として大きな喜びです。

最後に、展示会にご協力いただいた明治大学中央図書館に感謝の意を表します。

明治大学法学部教授

NPO 世界俳句協会理事長

夏石番矢(乾 昌幸)

展示図書一覧

①

著者

平川祐弘（日本）

Sukehiro Hirakawa (Japan)

1931年生まれ

『和魂洋才の系譜 内と外からの明治日本』

出版社 河出書房新社（日本）

刊行年 1971年

比較文学の研究書。20世紀初めフランスに俳句を本格的に紹介したポール＝ルイ・クーシューについての調査と分析がある。



②

著者

コヤマエイジ（日本）

Eiji Koyama(Japan)

1955年生まれ

コヤマエイジ アニメーション実験映像作品集

発行人 コヤマエイジ

発行年 2013年

ライフワークとして1980年代から現在に至る約40年間にコマ取り技法を中心にした実験映像を撮影して来た3枚組作品集。夏石番矢の句集『ターコイズ・ミルク』を基にした同タイトルの映像も収録。



③

著者

夏石番矢（日本）

Ban'ya Natsuishi (Japan)

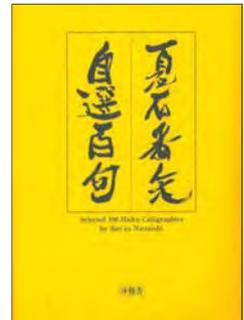
1955年生まれ

『夏石番矢自選百句』

出版社 沖積舎（日本）

刊行年 2015年

著者41年の句業から100句を選び墨書した色紙の縮小印刷。すべてに英訳付き。



④

編者

林岫（中国）

Xiù Lín (China)

1945年生まれ

『中國漢俳百家詩選』

出版社 綫装書局（中国）

刊行年 2013年

中国現代詩人100人による漢俳選集。付録として石倉秀樹、竹田憲生（竹凡）橋本新歌（徐一平）などの漢俳収録。



⑤

著者

八木忠栄（日本）

Chuei Yagi (Japan)

1941年生まれ

句集『身体論』

出版社 砂子屋書房（日本）

刊行年 2008年

日本の現代詩人の第2句集。



⑥

著者

ジェームス・シェイ（米国）

James Shea (USA)

1976年生まれ

詩集『失われた小説』

出版社 フェンス・ブック（米国）

刊行年 2014年

米国現代詩人による詩集。短詩や俳句に近い3行詩が収録されている。



⑦

著者

鎌倉佐弓（日本）

Sayumi Kamakura (Japan)

1953年生まれ

句集『海はラララ』

出版社 沖積舎（日本）

刊行年 2011年

現代日本女性俳人の第5句集。



⑧

著者

ジョン・パレン（米国）など

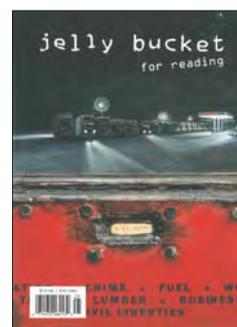
John Palen (USA), etc.

『ジェリー・バケット』

出版社 東ケンタッキー大学クリエイティブ・ライティング・プログラム（米国）

刊行年 2012年

米国大学の企画出版。日本の清水国治への英語インタビューとカラーCG 俳画収録。



⑨

著者

ウルジン・フレルバートル (モンゴル)

Urjin Khurelbaatar (Mongolia)

1954年生まれ

句集『蜃気楼 ゴビ大砂漠のまぼろしのなかで』

出版社 ムンヒーシ・ウセグ (モンゴル)

刊行年 2015年

モンゴルを代表する詩人の句集。同年に出版した3句集の一つ。



⑩

著者

山田耕司 (日本)

Koji Yamada (Japan)

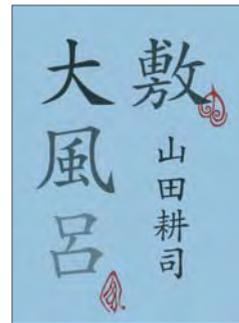
1967年生まれ

句集『大風呂敷』

出版社 大風呂敷出版局 (日本)

刊行年 2010年

明治大学文学部出身の俳人の処女句集。



⑪

著者

ヨーゼフ・ビーロー (ハンガリー)

József Bíró (Hungary)

1951年生まれ

句集『結ぶ詩』

出版社 フンガロヴォックス (ハンガリー)

刊行年 2009年

ハンガリー芸術家による前衛的句集。すべての3行俳句に題付き。



⑫

著者

上野一孝 (日本)

Ikko Ueno (Japan)

1958年生まれ

句集『李白』

出版社 ふらんす堂 (日本)

刊行年 2008年

森澄雄門下の俳人の第2句集。



⑬

著者

長嶺千晶（日本）

Chiaki Nagamine (Japan)

1959年生まれ

句集『白い崖』

出版社 文芸社（日本）

刊行年 2011年

中村草田男門下の女性俳人の第4句集。



⑭

著者

ズラトカ・ティムノヴァ（ポルトガル）

Zlatka Timenova (Portugal)

1949年生まれ

句集『星屑として』

出版社 イク・ブラマク（ブルガリア）

刊行年 2013年

ポルトガル在住、ブルガリア出身の女性学者、詩人のブルガリア語俳句集。第1句集。



⑮

著者

Yo・エルデニトクトホ（内モンゴル）

Yo. Erdenetogtokh (Inner Mongolia)

1961年生まれ

句集『黄驃馬』

出版社 内蒙古人民出版社（内モンゴル）

刊行年 2008年

内モンゴル詩人によるモンゴル語句集。モンゴル文字とキリル文字表記。巻末に日本語俳句も収録。



⑯

E・ボルド（内モンゴル）

E. Bold (Inner Mongolia)

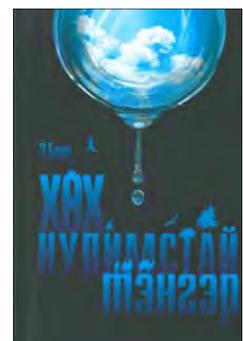
1966年生まれ

詩集『蒼い涙の天空』

出版社 不明（モンゴル）

刊行年 2010年

内モンゴル詩人によるキリル文字によるモンゴル語詩集。数句俳句収録。



⑰

ユディット・ヴィハル (ハンガリー)

Judit Vihar (Hungary)

1944年生まれ

翻訳書『奥のほそ道』

出版社 ヴィンチ社 (ハンガリー)

刊行年 2011年

ハンガリーの日本文学研究者による松尾芭蕉紀行文全訳。ハンガリー語訳の後ろに日本語全文掲載。カラー挿絵入り。



⑱

木村聡雄 (日本)

Toshio Kimura (Japan)

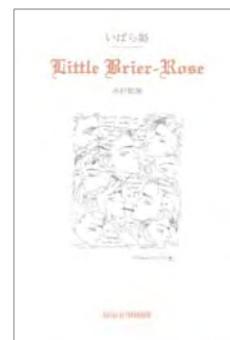
1956年生まれ

句集『いばら姫』

出版社 ふらんす堂 (日本)

刊行年 2010年

高柳重信門下の俳人の第2句集。



⑲

ロン・リデル (ニュージーランド)

Ron Riddell (New Zealand)

1949年生まれ

俳句・詩集『雨のなかの子どもたち』

出版社 プリントブル・リアリティ (ニュージーランド)

刊行年 2015年

ニュージーランドの詩人の俳句と詩を収録したペーパーバック。前半に3行の英語俳句を置く。



⑳

夏石番矢・世界俳句協会編

Ban'ya Natsuishi & World Haiku Association (Japan)

『世界俳句2015 第11号』

出版社 七月堂 (日本)

刊行年 2015年

世界俳句協会の年間出版物。44か国30言語204人の多言語俳句選集をはじめ、ジュニア俳句、俳論、俳画などを収録。



展示「書」 一覧

①

清水國治（日本） 日英二言語俳句のデジタル俳画
霞む山季節のぬくみ流れくる



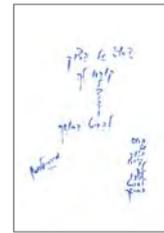
②

夏石番矢（日本） 日本語俳句の書
未来より滝を吹き割る風来たる



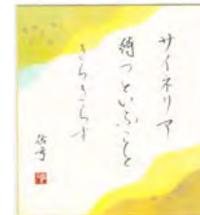
③

モルデカイ・ゲルドマン（イスラエル） ヘブライ語俳句の書
崖の上の男／そばへと君を呼ぶ／闇を見つめるため



④

鎌倉佐弓（日本） 日本語俳句の書
サイネリア待つといふこときらきらす



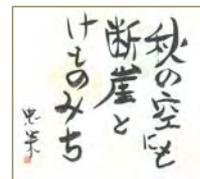
⑤

山田耕司（日本） 日本語俳句の書
浴室に鯨を待てば夜の雪



⑥

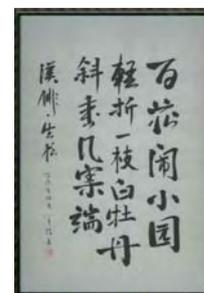
八木忠栄（日本） 日本語俳句の書
秋の空にも断崖とけものみち



⑦

徐一平（中国） 漢俳の書

百花開小園 百花 小なき園にはな開ひらわう
軽折一枝白牡丹 軽く折りたる一枝の白牡丹
斜垂几案端 斜めに垂れたり 几案こたえの端に



⑧
石倉秀樹（日本） 中国語俳句の書

骨
號 枯
風 古
北 道
哭
鬼



<読み1>

骨枯古道 骨は古道に枯る

鬼哭 鬼哭いて

北風號 北風号ぶ

<読み2>

鬼道古 鬼道は古し

枯骨號 枯骨号べば

風北哭 風北に哭く

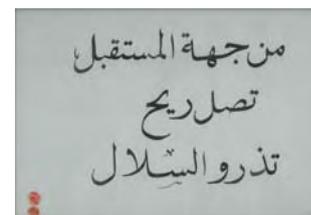
<読み3>

鬼哭 鬼哭いて

北風號 北風号ぶ

骨枯古道 骨 古道に枯る

⑨
アラビア語訳
「未来より滝を吹き割る風来たる 夏石番矢」の書



⑩
E・ボルド（内モンゴル）の書（左から）
白鶴の声／思い出消し行く／輝きながら
雪解け水／馬頭琴のメロディに／流れて



第8回世界俳句協会大会併催

「世界の俳句」展

解説執筆：夏石番矢（乾 昌幸）

（明治大学法学部教授 NPO 世界俳句協会理事長）

展示協力：中央図書館ギャラリー企画運営ワーキンググループ

編集発行：明治大学図書館

発行日：2015年9月5日